

採卵鶏の700日齢飼育による個産卵個数500個生産技術

近年、採卵鶏の長期間における産卵持続能力が向上し、これらの鶏種を利用し適正に管理することにより700日齢までの飼育期間（産卵期間120～700日齢〔18～700週齢〕、581日間）で500個以上の産卵が可能である。

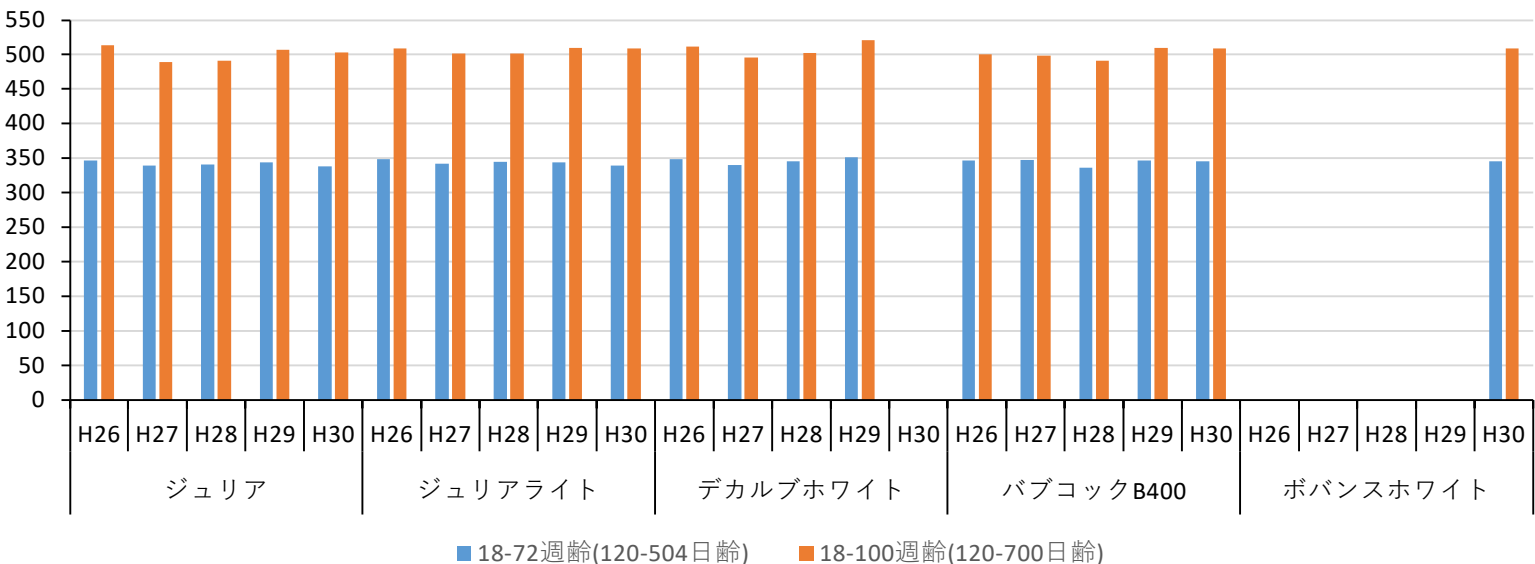


図1 700日齢飼育で500個以上産卵した鶏種の成績（ヘンハウス産卵個数）

平成25年～30年に餌付けた16鶏種（延べ51鶏種）の試験結果から、700日齢で500個産が遺伝的能力で可能な鶏種は、ジュリア、ジュリアライト、バブコックB400、デカルブホワイト、ポバンスホワイトの白玉鶏5鶏種である。

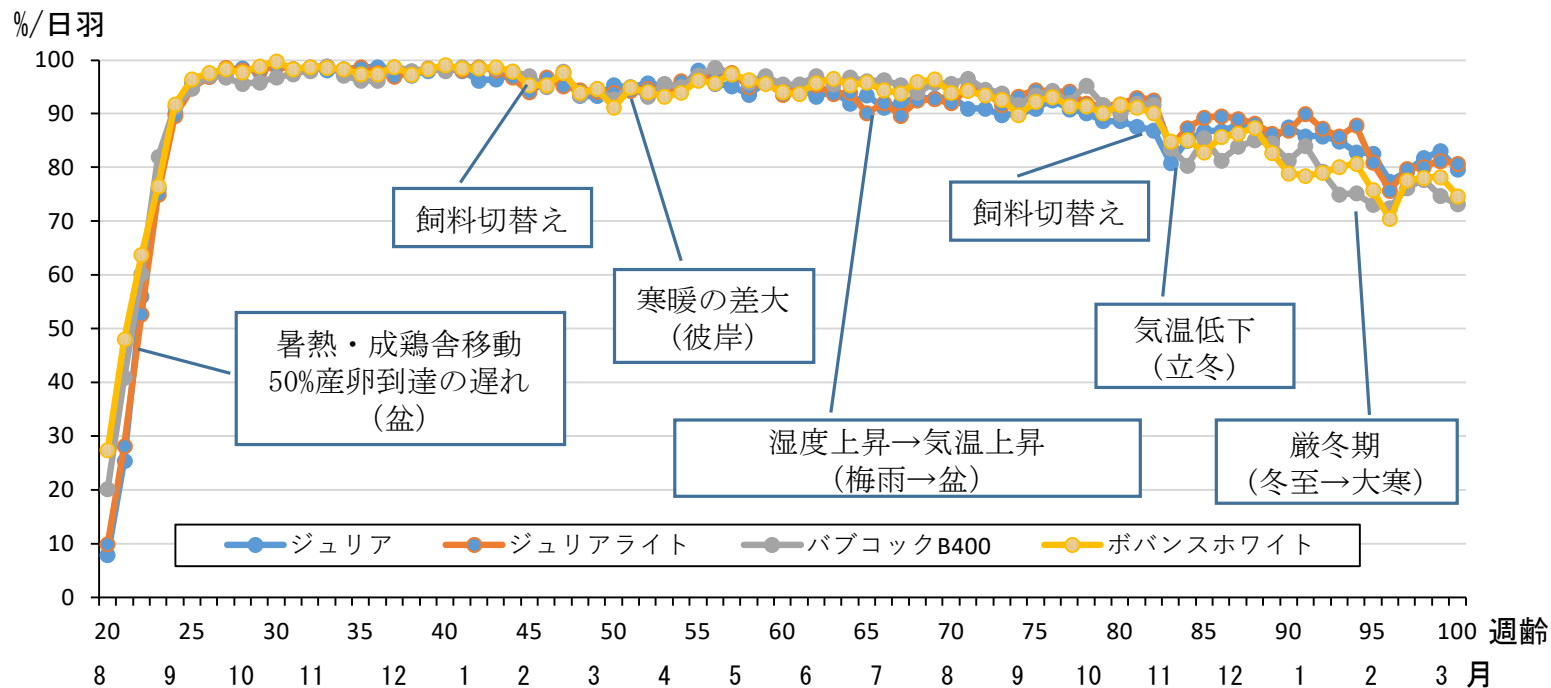


図2 ヘンデイ産卵率の推移（週次）から見た産卵個数の減（平成30年4月餌付け）

ヘンハウス産卵個数の目標値は120～504日齢（18～72週齢）が350個、505～700日齢（73～100週齢）が170個とし（合計520個）、目標値を減らさないよう緻密な管理を実施する。